



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月14日

上場会社名 出光興産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5019 URL <http://www.idemitsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 月岡 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部IR室長 (氏名) 徳光 孝治 TEL 03-3213-9307
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,664,360	17.8	156,446	87.0	169,871	100.9	145,076	139.3
29年3月期第3四半期	2,260,854	△19.2	83,679	—	84,557	—	60,613	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 156,297百万円 (628.9%) 29年3月期第3四半期 21,442百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	776.50	—
29年3月期第3四半期	378.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,905,274	882,659	29.1
29年3月期	2,641,633	619,932	22.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 844,634百万円 29年3月期 583,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
30年3月期	—	40.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,650,000	14.4	206,000	52.3	230,000	64.3	160,000	81.5	856.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
除外 1社 (社名) Idemitsu Petroleum UK Ltd.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	208,000,000株	29年3月期	160,000,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	47,497株	29年3月期	47,236株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	186,832,683株	29年3月期3Q	159,953,026株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の国内の石油製品需要は、ほぼ前年並みとなりました。

ドバイ原油価格は、年末に向けOPEC協調減産延長への期待と中東での地政学リスクの高まりを受け、11月以降は60ドル/バレルを上回りました。この結果、4～12月の平均価格では前年同期比8.3ドル/バレル上昇の53.2ドル/バレルとなりました。

石油化学製品需要は、アジアを中心に堅調に推移しました。石油化学原料であるナフサ価格は、前年同期比で74ドル/トン上昇の489ドル/トンとなりました。

(原油価格、ナフサ価格、為替レート of の状況)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	
			絶対値	対前年
ドバイ原油 (ドル/バレル)	44.9	53.2	+8.3	+18.5%
ナフサ価格 (ドル/トン)	415	489	+74	+17.8%
為替レート (円/ドル)	107.6	112.7	+5.1	+4.7%

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、原油の輸入価格が上昇したことなどにより2兆6,644億円(前年同期比+17.8%)となりました。

営業利益は、石油製品のマージン改善や資源価格の上昇などの増益要因により1,564億円(前年同期比+87.0%)となりました。営業外損益は、持分法による投資利益の増加などにより134億円(前年同期比+125億円)の利益となりました。その結果、経常利益は1,699億円(前年同期比+100.9%)となりました。

特別損益は、関係会社株式売却益などにより116億円の利益(前年同期比+127億円)となりました。また、それに伴う過年度損失の損金算入等もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,451億円(前年同期比+139.3%)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりです。

当社グループの決算期は、一部を除き、海外子会社が12月、国内子会社は3月であるため、当第3四半期連結累計期間の業績については、海外子会社は平成29年1～9月期、国内子会社は平成29年4～12月期について記載しています。

また、平成29年7月1日付の機構変更に伴い、第2四半期連結累計期間より従来「資源セグメント」の(石炭事業・その他事業)に含めていた地熱事業とウラン事業の売上高及び営業利益について、地熱事業を同セグメントの(石油開発事業・地熱事業)に、ウラン事業を同セグメントの(石炭事業・その他事業)に含めています。

[石油製品セグメント]

石油製品セグメントの売上高は、原油の輸入価格が上昇したことなどにより2兆471億円(前年同期比+18.5%)となりました。

営業利益は、製品マージンの改善や在庫評価影響などの増益要因により774億円(前年同期比+54.3%)となりました。

[石油化学製品セグメント]

石油化学製品セグメントの売上高は、ナフサ価格が上昇したことなどにより3,572億円(前年同期比+11.5%)となりました。

営業利益は、スチレンモノマー等の製品マージンが前年比で拡大したことや販売増などによる増益要因が、製造用燃料費の増加による減益要因を上回り301億円(前年同期比+11.6%)となりました。

[資源セグメント]

(石油開発事業・地熱事業)

石油開発事業・地熱事業は、石油開発事業で原油価格が上昇した影響などにより、売上高は595億円(前年同期比+13.8%)となりました。営業利益は183億円(前年同期比+486.0%)となりました。

(石炭事業・その他事業)

石炭事業・その他事業は、石炭事業で石炭価格が大幅に上昇した影響などにより、売上高は1,498億円(前年同期比+32.1%)となりました。営業利益は285億円(前年同期比+262億円)となりました。

以上の結果、資源セグメント計では、売上高は2,092億円(前年同期比+26.3%)、営業利益は468億円(前年同期比+755.2%)となりました。

[その他セグメント]

その他セグメントの売上高は、508億円（前年同期比+8.7%）となり、営業利益は54億円（前年同期比+59.9%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部・負債の部

当第3四半期連結会計期間末の資産の部では、売掛債権・たな卸資産及び現預金の増加などにより、連結資産合計で2兆9,053億円（前連結会計年度末対比+2,636億円）となりました。負債の部では、有利子負債（9,641億円）は減少しましたが、買掛債務が増加したことなどにより、連結負債合計で2兆226億円（前連結会計年度末対比+9億円）となりました。

②純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、公募増資の実施に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ597億円増加したことに加え、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどにより8,827億円（前連結会計年度末対比+2,627億円）となりました。自己資本比率は29.1%（前連結会計年度末比+7.0ポイント）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、平成29年11月14日公表の予想を修正しました。なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	91,423	169,732
受取手形及び売掛金	327,402	412,029
たな卸資産	430,861	497,089
その他	112,712	126,011
貸倒引当金	△2,629	△856
流動資産合計	959,770	1,204,007
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	203,493	193,890
土地	584,350	583,478
その他(純額)	234,241	237,390
有形固定資産合計	1,022,086	1,014,760
無形固定資産	22,124	20,917
投資その他の資産		
投資有価証券	414,455	425,762
油田プレミアム資産	30,617	20,548
その他	193,036	219,734
貸倒引当金	△457	△456
投資その他の資産合計	637,652	665,588
固定資産合計	1,681,863	1,701,266
資産合計	2,641,633	2,905,274
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	331,602	405,192
短期借入金	357,566	164,908
コマーシャル・ペーパー	104,005	215,000
1年内償還予定の社債	10,000	25,000
未払金	231,990	274,279
未払法人税等	14,529	25,975
賞与引当金	8,247	2,415
その他	87,036	95,154
流動負債合計	1,144,978	1,207,926
固定負債		
社債	55,000	40,000
長期借入金	524,115	517,577
退職給付に係る負債	15,093	15,188
修繕引当金	28,357	30,220
資産除去債務	78,132	49,373
油田プレミアム負債	38,114	27,855
その他	137,908	134,472
固定負債合計	876,722	814,688
負債合計	2,021,700	2,022,614

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	108,606	168,351
資本剰余金	71,131	130,875
利益剰余金	249,549	384,759
自己株式	△131	△132
株主資本合計	429,156	683,854
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,617	12,163
繰延ヘッジ損益	△7,713	△7,402
土地再評価差額金	155,541	154,759
為替換算調整勘定	318	1,382
退職給付に係る調整累計額	△1,119	△122
その他の包括利益累計額合計	154,644	160,780
非支配株主持分	36,132	38,025
純資産合計	619,932	882,659
負債純資産合計	2,641,633	2,905,274

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,260,854	2,664,360
売上原価	1,974,312	2,297,224
売上総利益	286,541	367,135
販売費及び一般管理費	202,862	210,688
営業利益	83,679	156,446
営業外収益		
受取利息	1,814	3,230
受取配当金	4,339	2,332
為替差益	—	1,240
持分法による投資利益	3,753	17,090
その他	1,643	1,243
営業外収益合計	11,550	25,138
営業外費用		
支払利息	6,756	7,454
為替差損	577	—
その他	3,337	4,259
営業外費用合計	10,672	11,714
経常利益	84,557	169,871
特別利益		
固定資産売却益	1,416	1,665
投資有価証券売却益	635	203
関係会社株式売却益	39	12,136
その他	2	15
特別利益合計	2,094	14,022
特別損失		
減損損失	425	787
固定資産売却損	98	133
固定資産除却損	2,269	1,349
その他	398	164
特別損失合計	3,192	2,434
税金等調整前四半期純利益	83,459	181,458
法人税等	21,166	32,926
四半期純利益	62,293	148,532
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,680	3,455
親会社株主に帰属する四半期純利益	60,613	145,076

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	62,293	148,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,378	3,518
繰延ヘッジ損益	1,164	1,981
為替換算調整勘定	△30,036	4,606
退職給付に係る調整額	1,041	904
持分法適用会社に対する持分相当額	△16,398	△3,245
その他の包括利益合計	△40,851	7,764
四半期包括利益	21,442	156,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,784	151,336
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,342	4,960

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年7月20日を払込期日とする公募増資を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ59,744百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が168,351百万円、資本剰余金が130,875百万円となっています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	石油製品	石油化学 製品	資源	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,727,993	320,438	165,661	2,214,093	46,761	2,260,854	—	2,260,854
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,895	2,677	0	7,573	170	7,744	△7,744	—
計	1,732,888	323,116	165,662	2,221,666	46,931	2,268,598	△7,744	2,260,854
セグメント利益	50,163	26,989	5,476	82,629	3,396	86,026	△2,347	83,679

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業、保険事業、電子材料事業、アグリバイオ事業、再生可能エネルギー事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費等です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要なものはありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	石油製品	石油化学 製品	資源	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,047,070	357,200	209,248	2,613,520	50,840	2,664,360	—	2,664,360
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,764	2,972	735	8,472	295	8,768	△8,768	—
計	2,051,835	360,173	209,984	2,621,993	51,136	2,673,129	△8,768	2,664,360
セグメント利益	77,378	30,110	46,832	154,321	5,431	159,752	△3,305	156,446

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、昭和シェル石油(株)、エンジニアリング事業、保険事業、電子材料事業、アグリバイオ事業、再生可能エネルギー事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費等です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

4. セグメント利益の算定には含まれていませんが、取締役会に対して、持分法投資損益が定期的に提供され使用されています。なお、昭和シェル石油(株)の持分法投資損益は(その他)に含まれています。

(石油製品) △1,560百万円、(石油化学製品) 6,422百万円、(資源) 1,656百万円、

(その他) 10,575百万円、(調整額) △2百万円

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要なものはありません。